

## 航の2011年3月21日の明け方の夢

レポート:あめのひかり

目覚めてすぐに

わ「ママー。僕、地下人(ちかびと)と地下の世界に遊びに行ってきた夢見たー」

あ「そう。良かったね！楽しかった？」

わ「うん！」(すごく、幸せそうな顔で)

わ「恐竜が穴の入口まで、迎えに来てくれて、…」

わ「お礼にクッキーをあげるの。」

わ「僕、恐竜の頭に乗って、完成させるために、上に『鶴の飾り』飾りをつけるの。」

あ「上って？天井？」

わ「洞穴の上！」

あ「完成って？何を完成させてたの？」

わ「うーん、忘れた」

わ「恐竜は首長竜だよ。おっきなマンションぐらい、大きいよ。それが2頭いて、他のも3頭いて、あとは、何か分かんない生き物もいるの。」

わ「それで、みんなで、御馳走をたべるの。」

あ「よかったね。おいしかった？」

わ「おやつ。ケーキは甘すぎて、僕は好きじゃなかったの。でも、そのあとに辛いのが出てきて、それは、すごく美味しかった。」

あ「辛いのは？カレーかな？」

わ「分かんない。たぶんカレー」

わ「○○君もいたよ。保育園の○○組のみんなも。みんな、それぞれ、洞穴の入口は、別なの。途中まで一緒に、中のお部屋は、わかれているの。」

あ「航君が案内してあげたの？」

わ「うん。穴の入口まではね。でも、中は違うよ。恐竜が案内してくれた。話せるんだよ。(恐竜が)」

あ「そう。すごいね。地下人の大きさはどれくらいだった？」

わ「僕と同じくらい」

あ「もっと下までいったの？」

わ「ううん。これから行くところだったのに…ママが起こしたから、見れなかった！楽しかったのに——。また寝る——！！！」(でも寝れず…)